

水常	入飛	◎新	作長	三田	安	赤吾	◎北	佐	荒下	小小	大武	大山	馬七	◎境	那
室盤	生飛	合原	谷好	沼好	蘇蘇	見妻	南西	野東	川江	川川	内茂	山田	頭合	山山	須
中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中
神村	田田	福真	矢針	津縫	刑小	春橋	大小	永手	土土	笹三	塚岡	滝加	増小		
山整	沢沢	田島	下部	布田	部竹	日本	高野	田塚	田沼	尾原	崎田	藤藤	淵泉		
邦三	武正	時時	靖次	久文	正正	成武	治政	崇益	源政	正正					
夫郎	司一	茂滋	茂宏	二郎	典美	夫夫	郎治	夫雄	治男	寛寿	清清	清勇	正忠		

昭和42年度栃木県中学校長会予算案

取 入 744,133円
 支 出 744,133円
 差 引 残 高 0

(収入内訳)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
I 会 費	604,800	567,000	37,800		3,200×189前年度より1人当200円増
II 繰 越 金	39,033	2,062	35,971		
III 雑 収 入	100,300	100,300			
合 計	744,133	669,362	74,771		

(支出内訳)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
I 事 務 費	431,300	372,665	58,635		$18,000 \times 12 = 216,000$ 円俸給 $18,000 \times 4 = 72,000$ 円ボーナス $1,000 \times 12 = 12,000$ 円通勤手当 $900 \times 7(5\%) = 6,300$ 円ベースアップ
1 事務職員手当	306,300	236,165	70,135		
2 需 要 費	27,000	26,500	500		
3 旅 費	45,000	65,000	20,000		
4 会 議 費	50,000	43,000	7,000		
5 接 待 費	1,000	1,000			
6 雑 費	2,000	1,000	1,000		理事会6回 協議員会6回 (1人100円 500人分)
II 事 業 費	96,000	86,000	10,000		
1 研 修 費	4,000	4,000			1回 8,500円 2回分
2 会 報 費	15,000	14,000	1,000		1部会3,000円 9部会
3 部 会 費	27,000	27,000			全日中、関プロ、他団体との連絡費
4 連 絡 会 議 費	5,000	6,000	1,000		総会費、昼食代、印刷、会場費、その他
5 大 会 費	45,000	35,000	10,000		
III 分 担 金	189,000	189,000			
1 全日中分担金	151,200	151,200			全日中 1人800円×189
2 関プロ分担金	37,800	37,800			関プロ 1人200円×189
IV 慶 弔 費	5,000	6,000	1,000		
1 慶 弔 費	5,000	6,000	1,000		会員以外の慶弔
V 積 立 金	10,000	10,000			
1 積 立 金	10,000	10,000			事務職員退職金
VI 予 備 費	12,833	5,697	7,136		
1 予 備 費	12,833	5,697	7,136		
合 計	744,133	669,362	74,771		

足 利 地 区
 ◎ 足利第一中
 ◎ 足利第二中
 ◎ 足利第三中
 毛野中

阿 柴 長 岡
 崎 野 村
 好 祐 喜
 理 悦 寿 治

富 名 北 西 山
 田 草 郷 辺
 中 中 中 中 中
 堀 三 粉 橋 赤
 江 村 本 羽
 正 道 仲 喜
 太 三 三 喜
 郎 郎 保 郎 平

◎ 足 坂 愛 協
 尾 西 岩 和
 中 中 中 中
 熊 木 磯 谷
 倉 本 津
 昌 信 正 高
 雄 一 三 司

須黒	川湯	野佐	金野	金田	親園	◎大	那	上喜	高根	阿久	熟田	氏家	大宮	玉生	船生	塩原	新高	片岡	泉高	◎矢	塩	静和	岩舟	
賀羽	西津	久山	田崎	田南	田北	田原	須	江連	喜根	久津	田家	宮家	生生	生生	原原	高根	高岡	高岡	高岡	板板	谷谷	野野	小野	
中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中	中中
本吉	墨殿	榑榑	松松	金江	鈴佐	塚新	塚新	斎斎	篠篠	入高	安大	大船	笠笠	市植	川永	鳥羽	平大	大阿	大義					
成谷	生原	本本	森森	連連	木藤	原井	原井	藤藤	原原	江江	瀬瀬	貫貫	生生	間村	木保	井井	野野	野野	野野					
沢不	二宮	治治	英英	俊俊	豊豊	英英	三三	公公	益益	敏敏	清清	幸幸	孝孝	真真	泰泰	信信	喜喜	英英	政政					
正雄	松郎	二和	男松	雄夫	司二	清雄	吾晃	三逸	一一	澄雄	一一	澄雄	一一	澄雄	一一	澄雄	一一	澄雄	一一					

栃木県中学校長会一般会計決算 (昭和41年度)

取 入 705,842円
 支 出 666,809円
 差 引 残 高 39,033円

(収入内訳)

項 目	予算額	決算額	比 較		備 考
			増	減	
I 会 費	567,000	567,000			
II 繰 越 金	2,062	2,062			
III 雑 収 入	100,300	136,780	36,480		利子、関プロ大会より繰入れ
計	669,362	705,842	36,480		

(支出内訳)

項 目	予算額	決算額	比 較		備 考
			増	減	
I 事 務 費	372,665	353,860		18,805	事務職員ベースアップによる印刷代、事務用品代、電話料等 全日中・関プロ会議出席旅費 理事会、協議員会昼食代
1 事務職員手当	236,165	240,884	4,719		
2 需 要 費	26,500	36,606	10,106		
3 旅 費	65,000	39,000		25,000	
4 会 議 費	43,000	36,250		6,750	
5 接 待 費	1,000	1,000			
6 雑 費	1,000	120		880	車 代
II 事 業 費	86,000	85,245		755	
1 研 修 費	4,000	4,500	500		関プロ協議員研究会
2 会 報 費	14,000	14,500	500		会報1回発行
3 部 会 費	27,000	27,000			9部会 1部3,000円
4 連 絡 会 議 費	6,000	4,245		1,755	県小・中学校長研修会分担金
5 大 会 費	35,000	35,000			総会費
III 分 担 金	189,000	189,000			
1 全中分担金	151,200	151,200			800円×189校
2 関プロ分担金	37,800	37,800			200円×189校
IV 慶 弔 費	6,000	12,704	6,704		県P・T・A大会要項掲載広告料 その他
1 慶 弔 費	6,000	12,704	6,704		
V 積 立 金	10,000	10,000			
1 積 立 金	10,000	10,000			事務職員退職金
VI 予 備 費	5,697	16,000	10,303		
1 予 備 費	5,697	16,000	10,303		全中静岡大会補助、謝礼、その他
計	669,362	666,809		2,553	

高 大 芦 伊 西
 久 島 野 王 野 郷
 中 中 中 中 中

室 横 渡 室 金
 井 尾 辺 井 沢
 富 宗 小 久
 穂 武 郎 保 衛

・ 大 那 広
 磯 沢 原 須 谷
 中 中 中 中 中

・ 三 高 東 鍋
 那 島 林 那 須 掛
 野 中 中 中 中 中

植 村 室 白 村
 竹 上 井 井 上
 源 俊 九
 德 太 古 一 四
 重 郎 穂 郎 郎

野尾 大 滝田	鮎北 伊阿 関 廻	堀 萩 新 広 蓼 篠 荒 小 川 須 波 柿 江 斎 江 渡 相 大 五 塚 飯 酒 黒 平 大 佐 片 山 小 日 岩 宇	岩 宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
林 貫 田 沢 武	瀬 島 久 口 谷	越 原 井 瀬 沼 崎 井 上 佐 辺 沼 連 藤 口 辺 田 出 月 女 島 平 卷 崎 沢 田 藤 見 藤 見	宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
村 栄	浩 孟 藤 津 喜 三	一 十 一 四 一 喜 一 政 清 正 昇 精 憲 久 正 平 隆 之	宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
優 治 晃 逸 清 司	郎 郎 正 二 平 郎	郎 吉 良 郎 平 竜 司 雄 治 平 夫 竹 造 純 明 作 作 実 一 治 進 二 夫 郎 兵 守 英 治 一 武 能 雄	宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
	(河内教育事務所長)	足 足 足 安 安 佐 那 那 那 那 那 那 塩 塩 塩 塩 下 下 小 小 小 小 柄 柄 芳 芳 芳 真 鹿 今 今 河 字 宇 宇 宇 宇	宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
	(野口小学校長)	毛 富 山 長 田 赤 境 七 小 西 黒 大 笹 船 新 高 氏 石 豊 間 々 田 井 西 七 田 水 大 加 今 上 清 陽 陽	宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
	(黒羽小学校長)	野 田 辺 沼 見 合 川 須 野 中	宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
	(那須教育事務所長)		宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁
	(旗室小学校長)		宇 崎 縁 山 形 川 片 山 崎 縁

栃木県中学校長会規約

益子 洋 雀宮中

十五年勤続表彰者(三名)
岡村 喜与治 (足利一中)
大田 忠利 (都賀中)
吉田 作男 (西方中)

二十年勤続表彰者(三名)
佐友長 藤清野 三貞吉 (真岡中)
長 祐寿 (足利二)
野 吉夫 (大田原中)

第一章 名称及事務所

第一条 本会は栃木県中学校長会と称する

第二条 本会は事務所を会長の指定するところにおく

第二章 目的及事業

第三条 本会は中学校教育の振興を図ることを目的とする

第四条 本会は前条の目的を達成する為左の事業を行なう

一 中学校教育の調査研究
二 教育振興に関する運動
三 その他必要な事項

第三章 組織

第五条 本会は県下中学校長をもって組織する

第四章 役員

第六条 本会に左の役員を置く

一 会長 四名
二 副会長 四名
三 理事 若干名
四 監事 若干名

第七条 前条の役員は左の通りとする

会長は本会を代表して会務を統括する

副会長は会長を補佐し会長事故あるときはこれを代行する

理事は理事会、協議員会に出席し会務の運営にあたる

協議員は協議員会に出席し会務を審議する

第五章 会 議

第八条 監事は会計事務の監査にあたる

一 会長、副会長、監事は総会で会員の中から選出する

二 理事は各郡市中学校長及び各郡市協議員が互選する

三 協議員は四校につき一名の割合で各郡市中学校長が互選する

第九条 役員は任期が一年とし重任を妨げない、但し補欠役員は任期はその残任期間とする

第六章 専 門 部

第十條 本会は最高決議機関で事業の計画、予算決算その他重要事項を議決する

一 総会は本会の最高決議機関で事業の計画、予算決算その他重要事項を議決する

二 協議員会は総会に次ぐ決議機関である

三 理事会は総会、協議員会と決議された方針に従って会務を執行する

第十二条 協議員は定員の過半数で成立し、議決は出席者の多数決による

第七章 会 計

第十三条 本会は第四條の事業を行う為庶務、会計、調査、研修、編集、職員対策、進路対策、事業、修学旅行

第十四条 各部には役員若干員を置き左の方法で選出する

一 庶務部は各部の代表を以て

二 編集部は各部の代表を以て

三 其他の部は理事会にはかり会長がこれを委嘱する

第十五条 各部には部員の互選により正副部長を置く

第十八条 規 則

規程の改正は総会の決議による

昭和三十八年五月四日改正	昭和三十七年度 専門部正副部长	庶務部 益子 洋 (宇都宮中) 副部長 野沢平吉 (宇都宮中) 調査部 戸田博亘 (宇都宮中) 研究部 刑部喜三郎 (宇都宮中) 副部長 永岡正二 (河・南河内中) 編輯部 石原啓三 (宇都宮中) 副部長 岡村喜与治 (足・第一中) 職員対策部 波多野 昇 (宇都宮中) 副部長 依藤真吉 (那・黒田原中) 進路対策部 尾林 榮治 (下・大平中) 副部長 北条 静男 (宇都宮中) 事業部 永塚 正留 (宇都宮中) 副部長 坂本重造 (小・小山中) 修学旅行部 植竹 徳重 (那・西那須野中) 副部長 井田 福次 (宇都宮中) 副部長 友清 貞吉 (芳・真岡中) 印刷所 塚田 武光 (宇都宮中) 旭 陽 (宇都宮中) 旭 陽 (宇都宮中) 発行人 会 長 石原 啓三 (宇都宮市立星が丘中学校長) 編集人 編集部長 波多野 昇 (宇都宮市立豊郷中学校長) 印刷所 三共印刷株式会社 (宇都宮市旭町三の三三三三)
--------------	---------------------------	---

り運営に必要な細則は協議員会で定める

第十九条 本規約は本会が設立された昭和二十二年十二月十二日から施行する

昭和三十三年五月四日改正